

令和5年度 横尾中学校 「学力向上プラン」

長崎市立横尾中学校

研究部

- 1 校訓 「**自立**」 (将来、自分で稼いで、食べていける礎を築く)
- 2 教育方針 「知・徳・体」の調和のとれた人間性豊かな生徒の育成を目指し、活力ある学校の創造と、地域に愛される学校づくりに努める。

3 令和5年度学校スローガン 「**挑戦**」

4 生徒への3つの願い

「生命」	「仲間」	「前進」
人にとって最も大切なものは命と健康。「生かされている命」を自覚し、その命を輝かせる人になってほしい。と同時に、「生きている命」を持っている仲間の命と健康も大切にしてほしい。	人は、1人では生きていけない。必ず人のお世話になり、人に支えられながら生きている。このことを自覚し、人に対する感謝の気持ちを持ち、行動に移すことができる人になってほしい。	人は、時に立ち止まったり、後退したりしながらも前を向いて歩み出さなければならない。夢や希望を持ち、前へ気持ちを向け、努力をし続ける人であってほしい。

5 授業の3つの学習場面での手立て

導入	展開	まとめ
【興味関心】授業は導入によって決まる。生徒の興味・関心を高めるような導入を図る。また、「まとめ」を意識した「めあて」の設定を行い、 <u>本時では何を目標に学ぶのかを明確に示す。</u>	【質の転換】展開では、ICT活用、学習形態の変化など、授業の質の転換を図り、学びの深みを増すよう工夫する。また、伝える力、伝達する力として、 <u>「書く力」の育成に重点を置く。</u>	【学習継続】振り返りを行うことで、本時の学びを定着させる。また、学びのマニュアルとして「 <u>学びの小路</u> 」の活用を徹底し、 <u>家庭学習も含めた学びの継続性を大事にする。</u>

- 6 校内研究主題 『自分と地域の未来のために、自ら行動できる生徒の育成』
～「自己効力感」を高める地域・長崎外国語大学との交流～

- 7 今年度の重点努力目標 ①主体的・対話的で深い学びを意識した授業実践
 (学校評価で、「分かりやすい授業」90%達成)
 ②家庭学習の定着(学校評価で80%達成)
 ③継続的な読書活動(学校評価で80%達成)

8 学力向上にむけての具体的取組

学力向上対策	具体方策		
1.各教科の授業の充実	①授業規律の徹底 ②「まとめ」を意識した「めあて」の設定 ③「主体的・対話的で深い学び」となる授業 ④「長崎県読解力プラン」を意識した授業		
2.各教科での取組と、外部機関との連携	教科	R5年度 全校一斉取組	R5年度 対外的な取組
	国語	・読書指導 ・学校図書館活用 ・「書く力」向上	・各種作文コンクール ・JA 書道展
	社会		税の作文・租税教室
	理科	夏休み作品展	市小中学校科学教育展
	音楽	合唱コンクール	連合音楽会
	美術		平和作品展
	保体	体育大会	部活動(市中体連駅伝)
	技家	技術家庭科作品展	・保育実習・消費者講演会
英語	市スピーチコンテスト 英検	外大との連携 (英検学習会・留学生交流会)	
3.外大との連携による学力向上	①英検対策学習会 ②外国語大学の学生との交流 ③地域の達人講話(長崎外国語大学から講師を招聘) ④オールイングリッシュ講演会(長崎外国語大学から講師を招聘)		
4.「書く力」の向上	①定期テスト・実力テストでの文章記述式問題の出題 ②諸講座・講演会での感想文やお礼状の作成 ③校長先生からの宿題(各学年:年2回程度)		
5.GIGA スクールプロジェクト	①「キューピナ」を活用した朝自習 ②各授業での ICT 機器の活用		
6.学びの環境作り	①「学びの小路」の活用 ②英語による校内放送 ③「自己効力感」を育てる校内掲示		
7.保護者連携	①各種たよりの活用 ②「学びの小路」を中心としたテスト前後の取組と保護者の役割 ③「学びの小路」令和5年度の作成		